

●生活・法律相談は

- ◆市議会議員  
高野 とも (7155) 1683

◆市議会議員  
いぬい紳一郎 (7159) 2773

◆市議会議員  
小田桐たかし (7154) 0878
- ◆市議会議員  
安西 孝之 (7148) 6870

◆元市議会議員  
若王子博夫 (7159) 0861

◆元市議会議員  
せのお七重 (7146) 0694

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽におよせ下さい。

# 流山民報

2005年4月号

第145号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail: kfbkd645@ybb.ne.jp

「2月から年金が減らされた」「今でも高い、下水道料金値上げは困ります」

## くらしと福祉守るため力を合わせましょう

日本共産党



●ホームページを開設しました。  
<http://www.geocities.jp/kfbkd645>

|                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 24歳アルバイト<br>(独身・月収16万円)     | 23,100円  |
| 30代共働き<br>(子ども1人・月収35万円)    | 108,600円 |
| 40代片働き<br>(子ども2人・月収36万円)    | 195,800円 |
| 40代自営業夫婦<br>(子ども1人・年収420万円) | 254,500円 |
| 高齢者夫婦<br>(年金収入260万円)        | 119,700円 |

あなたの負担増は？

7兆円負担増  
消費税増税

国民の立場で

撤回を求めます

日本共産党

老いも若きもくらしのすみずみまで：05年6月の国民負担増は、総額7兆円、国民一人当たり5万円、4人家族で20万円にもなります。国会では消費税増税を前提に社会保障の見直しをと、与党と民主党による消費税増税論議に拍車がかかっています。

日本共産党は安心して暮らす社会保障にするため、公共事業のムダや巨額の軍事費の削減など税金の使い方の改革で約10兆円引き下げられた法人税率や高額所得者の税率を見直すなどで約8兆円の財源を、新たに提議しています。

井崎市政が誕生して2年。ちょうど折り返しの時期となりました。2年前の「市政を変えてほしい」というみなさんの願いは生かされたでしょうか。

3月市議会では、2005年度(H17)予算が審議され、市長がどのような流山市を築いていくかとしているのか、その方針が明らかになりました。市長は、今後5年間の方針として「市民満足度の高い流山市への転換を

めざす」と宣言し、第一に今年8月24日のつくばエキスプレス開業を契機として、沿線整備事業に「拍車」をかけることを掲げています。新しいまちづくりをして、新たな市民や企業を呼ぼうというのです。

その一方で、財政危機を打開するために、徹底した財政削減を行い、下水道料金の値上げや国保葬祭費のカット、自治会などへの補助金カットなどを押し付け、重点施

策からお年寄りや障害者の福祉をはずしてしまいました。

「市民満足度を高める」と言うなら、今流山市に住んでいる市民の暮らしや福祉の充実こそ、力を入れるべきではないでしょうか。

日本共産党は、莫大な税金をつぎ込む新線沿線開発推進、市民サービス切り捨ての予算に反対しました。みなさんの願いが届く市政実現のために、力を合わせましょう。

| 2005年に実施される負担増、サービスカット       |             |
|------------------------------|-------------|
| ●下水道料金値上げ                    | 1億円         |
| ●国保「葬祭費」削減                   | 1800万円      |
| ●公共施設の有料化実施予定                |             |
| ●国の税制改正に連動して、国保料、介護保険料軒並み値上げ |             |
| 2005年に実施される新線沿線整備事業          |             |
| ●一体型土地区画整理事業                 | 18億1146万円   |
| ●新市街地地区2号近隣公園整備              | 1億3142万円    |
| ●地区内公共下水道整備                  | 15億350万円    |
| ●都市計画道路整備                    | 5億4227万円    |
| ●東武鉄道乗換駅建設                   | 4億3044万円    |
| ●おおたかの森駅自由通路建設               | 1億5556万円    |
| ●青年の家改修                      | 2億1000万円    |
| ●駅前センター地区まちづくり推進事業他          | 2123万円 などなど |

2005年度予算に反対

日本共産党

2年前のみなさんの願いは生かされたでしょうか  
新線沿線開発に拍車、暮らし・福祉は切り捨て

憲法9条  
公約

市長の政治姿勢が問われています

政府与党や財界などが改憲の動きを強める中、作家大江健三郎さんらが呼びかけた「9条の会」が全国に広がっています。しかし、「憲法9

条を守るべきものと考えているのか」との日本共産党の質問に、「答弁を差し控える」とダンマリを決めこんだ市長。「9条を守る」の一言が言えない市長で、市民の代表と言えるでしょうか。

「出来るのにやらなかったら公約違反」……市民との約束を守れとの追及に、こう答えた市長。「巨大開発は抜本的に見直す」から「開発に拍車をかける」と180度転換するのでは、公約違反と言われても仕方ありません。

|                   | 共産党 | 日本新社会 | 創成会 | 公明党 | 新志会 | 市民連合 | 民主党 |
|-------------------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|
| 2005年度(H17)一般会計予算 | ×   | ○     | ○   | ○   | ○   | ×    | ○   |
| 下水道条例料金の値上げ       | ×   | ○     | ○   | ○   | ○   | ×    | ○   |
| 国保・葬祭費のカット        | ×   | ○     | ○   | ×   | ○   | ×    | ○   |
| 武器輸出三原則の堅持を求める意見書 | ○   | ×     | ×   | ×   | ×   | ○    | ×   |

# 自治体のあり方が問われています みなさんの願い届けてがんばる 日本共産党の4議席

市議会議員  
高野 とも市議会議員  
いぬい 紳一郎市議会議員  
小田 桐たかし市議会議員  
安西 孝之

市民の暮らしにとって重要な予算が審議された3月議会。日本共産党は、「住民の福祉の増進（地方自治法第一条）」という地方自治体の役割を果たせと、積極的に提案。これからもみなさんの願いを届けます。

## 国保「葬祭費」まで削減

## 国保料・一部負担の減免、

## 正規保険証発行で安心の国保制度に

市長は、国保会計に対する市の財政負担の削減をすすめ、昨年の保険料引き上げに続き、今年度は葬祭費（国保加入者が亡くなった場合に支給）を10万円から7万円に削減。「人の情けもないのか」との怒りの声が寄せられています。わたしたちは、命と健康

を守る制度の確立のために、国・県・市の財政負担の引上げを求めると同時に、医療費負担の軽減にむけ、医療費一部負担金の減免制度や、病院窓口で高額療養費の給付が受けられる委任払い制度を提案。『前向きに検討したい』との答弁をいただきました。

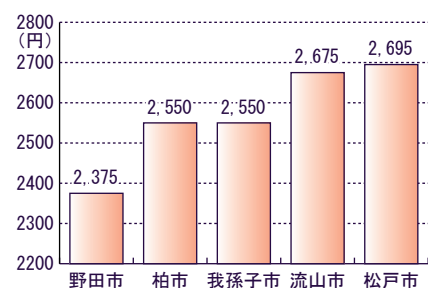
## 下水道料金の値上げ

## 市民生活を圧迫する値上げに反対。 既存市街地での整備を優先に

「今でも高いのに値上げとは」……一人暮らしのお年よりが嘆きます。下水道料金の9・3%もの値上げは、年金の削減、給与所得の減少などで、今でも大変な市民生活をさらに追いつめることに。

市の下水道事業は、新線沿線開発に300億円を投入する計画。身の丈に合わない事業を背負わされてい

値上げ後の月25m<sup>3</sup>当たりの下水道使用料  
東葛4市との比較



## 市立東幼稚園を廃止？

## 自治体の役割を發揮し、 教育・福祉の充実を

「市立東幼稚園存続を求める陳情書」が3507筆の署名を添えて提出され、「継続審査」に。

東幼稚園は40年という歴史を持ち、地域に密着していることや、私立より経済的な負担が軽いことから、なくてはならない存在です。そして何より、どの子もすこやかに育ってほしいという願いに、市は応えるべきです。

ほかに、学校給食調理業務の民間委託化や江戸川台子どもルームの民営化（自主運営）、新川出張所の廃止と、公共サービスの後退が目立ちます。

## 鉄道開業 8.24 決まったが 進まない区画整理事業

今年8月24日、常磐新線（つくばエクスプレス）が開業します。私たちは、利用しやすい鉄道にと提案と要求を繰返し行うとともに、『常磐新線お先真っ赤』（朝日）と報道されている採算性の問題の解決のために、国の財政負担を求めてきました。

沿線巨大開発の進捗状況は、市内全体で16%。「30年にかかる」と議会でヤジが飛ぶほどです。人口減少時代に、大量の住宅開発。その一方で貴重な自然・豊かな農地が壊されています。

新線沿線開発の進捗率（H16末） 事業費ベース

| 新市街地地区 | 運動公園地区 | 西平井・<br>鷗ヶ崎地区 | 木地区   |
|--------|--------|---------------|-------|
| 29.6%  | 14.5%  | 18.8%         | 15.7% |

## 都市軸道路

## 一方的な都市計画手続きを中止し、 住民との話し合い、合意形成を

ある日突然、「あなたの住むまちに幅32の巨大道路を通します」と言われ、三輪野山地区の住民は、平成9年以来、一方的な都市軸道路計画に苦しめられてきました。

昨年は、沿道9割の住民が計画への「不同意」を県・市に提出。見直しを求めています。市長を交えた対話



## 身近な要求実現

理科大前ガード下、  
歩車道の分離完成

高野 とも



消防本部庁舎の耐震  
診断を実施

いぬい 紳一郎



初石駅トイレの水洗  
化実現

小田 桐たかし



東幼稚園先のデコボコ  
道路改善

安西 孝之

